

第3回テーマ部会の進め方について

- 第3回テーマ部会は、以下の流れで開催し、テーマ部会としての今年度の成果のとりまとめを行います。

時 間	内 容	進め方
開会 30 分前 ～	集 合	・ 来場された方から自由に着席します
① 午前 10 時 ② 午後 2 時 ③ 午後 5 時	開 会	
5分	区挨拶	・ 区挨拶
10分	前回の振り返りと 本日の目的、懇談の進め方	・ 総合進行がPPTを基に、これまでの検討のおさらい懇談の進め方を説明します。
25分	懇談1：取組み内容の確認 (参加者全員で意見交換)	・ 第2回部会の懇談2で出された意見整理(参考資料-1)を基に、以下の内容について参加者全員で意見交換し、確認します。 ⇒取組みの方向性の文言や取組み内容のタイトルは適正か、取組み内容に過不足はないかなど
60分	懇談2：部会としての整理 (参加者全員で意見交換)	・ 引き続き参加者全員で、懇談1で確認した整理内容を踏まえ、取組み内容の重複確認とともに、参考資料-2の「参加者の思い」について意見交換を行い、文章化・整理します。 ⇒取組み内容に重複はないか、参考資料-2の文案が適切か、記述すべき事項はないか など
5分	整理内容のとりまとめ(事務局)	・ 懇談2の間に懇談1を踏まえ、参考資料-2の取組みの方向性と内容を修正。 ・ 懇談2を踏まえ、参考資料-2の取組みの思いの文章を修正。
10分	部会としての整理内容の確認	・ 各班で修正した整理内容(参考資料-2)を前面に写し、総合進行が読み上げ、成果を確認・共有します。
5分	今後の予定説明	・ 今後の予定について区から説明
計 120分	閉 会 (①正午、②午後4時、③午後7時)	

『参考資料-1』について

- 同封しております「参考資料-1」は、第2回テーマ部会において、各班で意見交換し整理しました内容を踏まえ、取組みの視点と取組み内容との整合を勘案し整理したものです（参考資料-1の次頁の当日整理写真と比較ください）。
- 参考資料-1は、懇談1で意見交換し確認します資料となりますので、当日までに、参加されたテーマ班の整理内容をご確認いただきご参加ください。

○第2回テーマ部会での意見交換内容や整理された取組み内容を踏まえ、取組みの視点と取組み内容との整合を勘案した取組みの視点のタイトル及び取組み内容です。

○当日は、懇談1で、取組みの視点・内容のタイトル、取組みの過不足について意見交換を行い、確認・共有します。

当日の懇談の 進行内容・視点・ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 前回の振り返りと合わせて、取組みの視点を再整理した。各取組みの視点に対し、『必要なものは何か?』、『どのように行うか?』、『どこでやるか?』の順に検討を進めた。ばらばらにある個人・個人、商店街をつなぐ新たな取組みが必要であることが確認された。また、そのためには、住民や商店街、行政による検討組織を立ち上げること、定期的に話し合いが可能なスペースの確保が必要なことも挙げられた。 		参考資料-1	
まちづくり 目標 人の集まる場づくり 【旗揚げしたテーマ】	取組みの視点(方向性)	【テーマの実現に向けた取組み】	①誰もが参加できる『話し合いの場』づくり ・高架下の空き店舗を活用して、月1回でもよいので話し合いやワークショップを行う。⇒区が公用というかたちで借りることができればなおよい。 ・地元住民、商業関係者、行政による、協議組織を立ち上げる ・JRの高架下の空き店舗 ⇒「西武みなみ」のような貸しスペース	
			(1)点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり	②誰もが気軽に使える『活動の場』づくり ・既存の制度活用(空き店舗活用など)により、活動資金を確保 ・知らせ板の活用 ⇒駅にあるマガジンラックと合わせて ・駅なか
			(2)駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり	①参加する人(住んでいる人、企業する人)が楽しめるイベントづくり ・各商店街の取組みが少なかった ・外部の人に参加してもらおう ⇒市側で企画は西武の住民が行い、お店を出す人は地区外の人とするなど ・外からのアイデアを集める ⇒商店街サポーターなどの制度構築 ・132号整備後の伏見通り ⇒バスルートが変更になるのでは?という想定から ・24の商店街をつなぐルート上でいろいろなイベント等を展開
				②各商店街が事業継承されるための仕組み作りが必要 ・各商店街の取組みが必要
				③(例)協議会の設置 ・132号線に関して検討を行う協議会組織が立ち上げられようとしている。区として協議会を認めてほしい

『参考資料-2』について

- 同封しております「参考資料-2」は、第2回テーマ部会において、各班で出された意見を踏まえ、取組み内容が出された際の参加者の思いを文章化したものです。
- 参考資料-2の参加者の思いは、まちづくり方針における取組み内容の内容説明文となるもので、懇談1を踏まえながら、懇談2で意見交換し文案ですので、当日までに、参加されたテーマ班の各取組み内容の文案をご確認いただきご参加ください。

○当日は、懇談2で、懇談1で整理した取組み内容を踏まえながら、整理した各取組み内容の文章化について意見交換を行い、整理・共有します。

○文章化にあたっては、「何のために」「何を」「どこで」「どのように」行うのかを念頭に置いて意見交換を進めます。

付加価値を生むまちづくり部会の整理

参考資料-2

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	参加者の思い(案)
付加価値を生むまちづくり	人の集まる場づくり	(1)点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり ①誰もが参加できる「話し合いの場づくり」 ②誰もが気軽に使える「活動の場づくり」	地区の活性化に向け、それぞれの活動等を共有、今後の活動等の検討ができるよう、誰もが気軽に参加できる「話し合いの場・活動の場」づくりを進めます。
		(2)駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり ①参加する人が楽しめるイベントづくり ②各商店が事業継承される仕組みづくりが必要 ※(例)協議会の開催	個々の商店において円滑に事業継承されるとともに、関連する人々(外部からのサポーターも含む)を中心とした駅周辺の活力の維持・向上に向けた取組みを進めます。
	イベントづくり	(1)人とのつながりによる体制づくり ①参加しやすいコミュニティづくり ②商店街や町会の絆を継承したつながりづくり ③地区外とのつながりづくり	町会や商店街、東京女子大学との連携など、人のつながりによる体制づくりを行います。
		(2)情報発信・共有によるつながりづくり ①参加者とのつながりづくり ②支援者とのつながりづくり	インターネットやSNS、クラウドファンディング等を活用したイベントの参加者・支援者への情報発信・情報共有を推進します。
		(3)西荻らしいイベントの実施 ①入りやすいイベント ②小規模なイベント ③音楽×食×酒	イベント企画立案・目的は、他の旗揚げテーマの観点を入れ込み「西荻らしいイベント」にします。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(1)個人店が多い地域特性を活かしたまちづくり ①地域の情報発信 ②起業や空店舗の活用 ③空き店舗活用しやすい仕組みづくり	個人店が多い西荻窪の強みを活かし、各店舗における地域の情報やイベントの発信に取り組みとともに、空き店舗バンクなどによる空き店舗活用しやすい仕組みづくりにより、店舗助成や起業支援、案内・情報発信機能としての空き店舗活用を推進します。
		(2)若者のやる気を引き出すまちづくり ①(例)仕組みづくり ②(例)仕事スペースの活用	若者のやる気を西荻窪の魅力につなげるため、若者のやりたいことを吸い上げる仕組みづくりとともに、若者が活動しやすい場の創出のため仕事スペース等の活用を推進します。
		(3)特徴ある文化的資源を活かしたまちづくり ①西荻のいっしょな文化を活かす ②子育て・教育環境	西荻の小洒落た文化のPR、子育て・教育環境の充実を図り、成熟した街を形成します。
	情報発信のプラットフォーム	(1)まちの話、発信したい情報収集 ①人の興味を引き続ける内容 ②魅力的な内容がないと続かない	商店街や幼稚園・保育園・小中学校・高等学校、大学、区役所との定期的な情報交換や情報募集中等を設置するなど、発信したい情報を集める仕組みをつくりまします。
		(2)まちなかでの情報発信拠点づくり ①情報発信していることを知ってもらう必要がある	店先空間等を利用して情報発信の拠点(掲示板、まち案内所等)をつくりまします。
		(3)情報発信の継続的な取組み促進 ①人の確保 ②場所の確保 ③システムづくり	「西荻窪案内所」「西荻窪ノート」「ふれま」などを実践されてきた方々の経験値を活かした勉強会を開催や情報発信に取り組むスタッフの確保、収入を得る仕組みを検討します。

参考資料－1：第2回テーマ部会での意見整理

『暮らしやすいまちづくり部会』

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり
目標

今の暮らしやすさの維持・充実

【旗揚げしたテーマ】

取組みの視点(方向性)	取組み内容
(1) 暮らしを支えるインフラの維持・整備	①『(例) 道路の整備』 ・無電柱化(優先順位をつけて早期着手) ・駐輪場は南北側にも確保(東西側は高架下にある) ・道路舗装整備(がたがたを平らに、車いす等も移動できる道づくり)←特にバス通りや私道 ②『(例) 防災拠点化、複合化』 ・公共施設(児童館、図書館等)の更新←防災拠点化、複合化
(2) 歩行者の安全性確保	①歩行者の安全を守るため、自転車のスピード抑制 ・小中学校での安全教室、商店街と連携して問題者に注意 ・スピードを抑制するためのカラー舗装等の工夫
(3) 商店や街並みの保全	①『(例) 建物のルールづくり』 ・古い商店の防災、補強←補助制度が必要 ・店を住宅にしない ・商店の看板の規制←台風を考慮した防災、景観 ②『(例) 緑の保全』 ・住宅地の緑を減らさない←高齢者が手入れすることは難しいので補助の仕組みが必要、小さな住宅にすると緑化する空間がなくなる ※ 看板、緑化、敷地分割などが考えられる←厳しさには要考慮
(4) 民間との協力体制づくり	①『(例) 観光資源化』 ・「ニシオギこのまま」「ニシオギ空想計画」「小金井公園建物園(昔の商店街の街並み)」との連携

まちづくり
目標

【テーマの実現に向けた取組み】

今の暮らしやすさ(要素)の維持

【旗揚げしたテーマ】

取組みの視点(方向性)	取組み内容					
整備 (ハードな取組み) インフラ維持 確実に進歩	無電柱化 優先順位つけて早く着手 → 道が広く → 安全に歩ける → 防犯 → 通化・電カインジ	駐輪場は南北側にも確保する。	ホソウ道路整備 ・バス通り ・私道	平らで車イスでも歩ける道づくり	公共施設の更新 防災拠点化 複合化	
マナー	自転車のスピード着 歩行者の安全を守る	対人関係に気を付けて相手を気遣う	小・中・高生、教室 商店街と連携 ホソウ(カラ・ホソウ)の工夫			
保全	・商店 ・まちなみ	古い商店の防犯補助+補強	台風に考慮した看板規制 商店の景観・防犯	住宅地の緑を 三軒がわたり手入れの補助 ・住宅地への	ルールづくり (看板・緑化・敷地回遊)	商店を住宅にしたい
民間との長期的な協力 コラボ	ニシオキ ニシオキ このまま	ニシオキ 空想計画	小笠原 テニスコート リアル 下町商店街	*きびしい再考	観光資源化	

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり
目標

「コミュニティによる安心づくり」
【旗揚げしたテーマ】

取組みの視点(方向性)	取組み内容 (取組み内容を.....としている)
(1) 誰もが安心して過ごせるまちづくり	<p>①座れる場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や身体障がいの方が休める空間がないため、<u>駅前等にベンチを設置する</u> ・<u>店先に誰でも休めるイスの設置を促す</u> (住民だけでもできる取組み) <p>②段差の少ないまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段差が多いため、<u>まちなかの段差をなくす</u> <p>③交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字ブロックが繋がっていない ・信号機の間隔が狭く、渡りにくい
(2) みどり豊かな良好な住環境の保全・育成	<p>①軸となるみどり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>駅前やバス通りに街路樹の設置</u> <p>②にぎわいとしてのみどり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が少ないため、<u>公園を増やす</u> <p>③まちなかのみどり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩して楽しいまちになるように、みどりによる豊かさの創出 ・日陰が少ない ・<u>住宅の塀にプランターの設置や、ブロック塀を生垣へと促す</u> (住民だけでもできる取組み)
場づくり ⇒(3) 地域住民のコミュニティ促進	<p>①くつろげる場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>駅前にベンチの設置</u> ・<u>くつろげる雰囲気づくり (駅前)</u> <p>②情報発信・共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝市などが開催されているが、知っている方が少ないため、<u>すでにある「場」を知ってもらう</u>

まちづくり
目標

安心 安全



コミュニティ

顔見知り

女性向

交流・コミュニティ
顔見知りが増える
安心

【テーマの実現に向けた取組み】

取組みの視点()

取組み内容

ベンチの設置

高齢者等
への配慮

① 通り(歩道)
駅前
ベンチの設置

① 店先に
イス

② (少い)
段差のない
まち

③ 交通

点字のり

信号機
(西内)

みどり

みどり
豊かな

① 街路樹
→ 駅前
→ 通り

② みどり
少ない

日かげ
豊か(緑地)

公園が
少ない

③ 散歩
が楽しいまち

住宅のへい
プランター
生垣

場

場づくり

ベンチの設置
(駅前)

朝市
⇒ 知っていただく

⇒ 場
広げていく
知らせていく

くつろげる
場

WiFi
環境

ふんいき
づくり
(駅前の)

身体障がい者等

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり 目標

空き家(室)・空地・空き店舗の活用

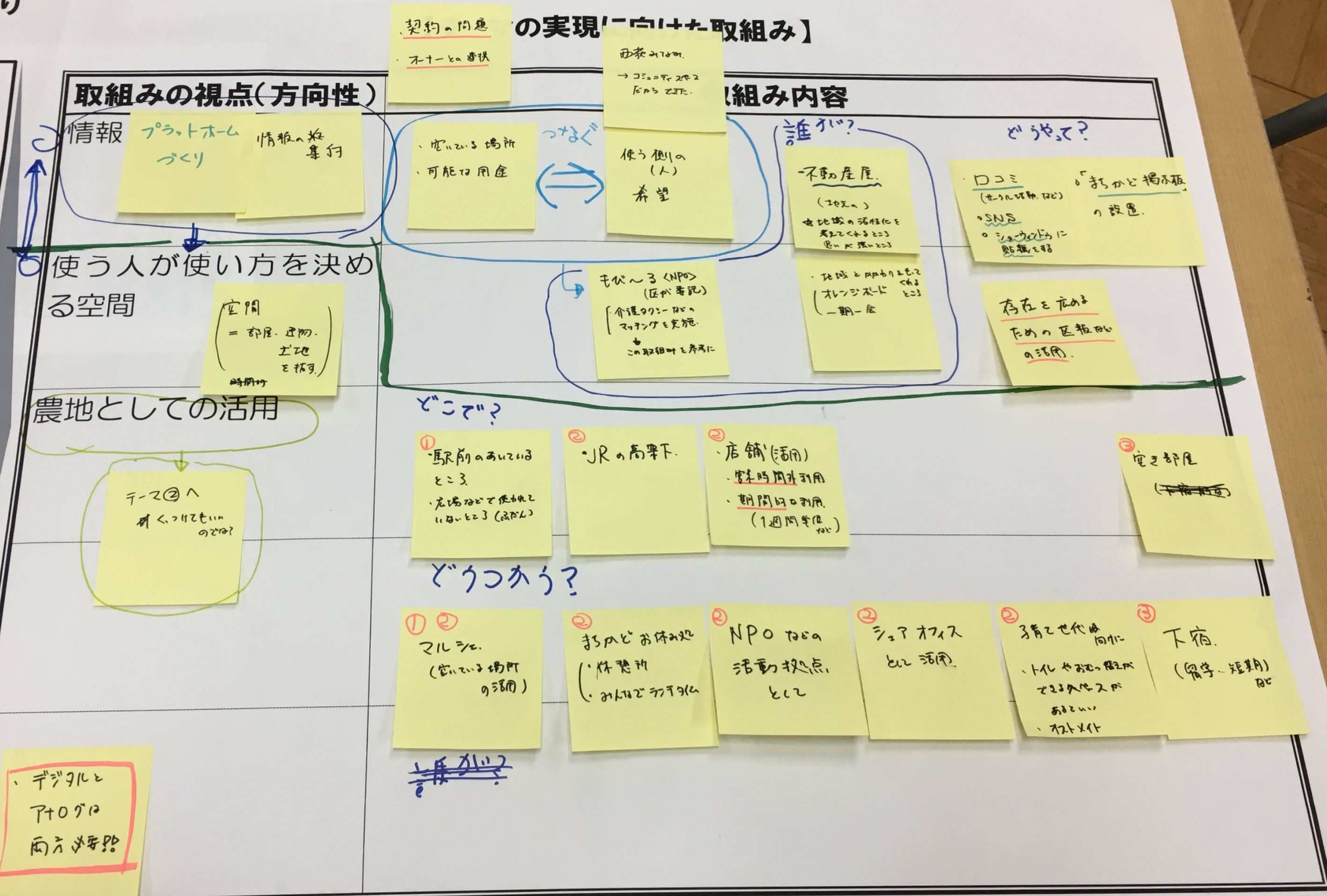
【旗揚げしたテーマ】

取組みの視点(方向性)	取組み内容
<p>情報</p> <p>⇒(1)情報を集約するプラットフォームづくり</p> <p>☆デジタル・アナログ両方の取組みが必要</p>	<p>①口コミ (SNS、サークル活動、店舗のショーウィンドウの活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の不動産屋 ⇒地域活性化を考えているところ、地元への思いが強いところ ・契約の問題、オーナーとの連携が必要 ・介護タクシーなどのマッチングを実施 <p>②『まちかど掲示板』の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もび〜る (NPO:区が委託) ・存在を広めるための区報等の活用 <p>例) オレンジボード、一期一会 空いている場所や使用可能な用途 ↓ つなぐ 使う人(側)の希望</p>
<p>↓ (上記を受けて)</p> <p>(2)空間(部屋、建物、土地)の有効活用</p> <p>使う人が使い方を決める</p>	<p>①マルシェ<場所:①②③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の空いている空間(広場などで普段使用されていない場所) ・JRの高架下 ・店舗(営業時間外、短期間(1週間程度)のレンタル) <p>②まちかど休憩所(気軽に休める場所、お弁当を持ち寄ってランチタイムなど)<場所:②③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRの高架下 ・店舗(営業時間外、短期間(1週間程度)のレンタル) <p>③NPOなどの活動拠点<場所:②③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRの高架下 ・店舗(営業時間外、短期間(1週間程度)のレンタル) <p>④シェアオフィス<場所:②③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRの高架下 ・店舗(営業時間外、短期間(1週間程度)のレンタル) <p>⑤子育て世代など多世代を対象とした多目的スペース (トイレ+おむつ替えスペース、オストメイト対応等)<場所:②③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRの高架下 ・店舗(営業時間外、短期間(1週間程度)のレンタル) <p>⑥留学生向け下宿(短期留学などホームステイ向け)<場所:④></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き部屋
<p>農地としての活用</p> <p>⇒テーマ「食べられるまち」へ</p>	<p>※空地となっている土地を農地として活用するという視点から、『食べられるまち(畑・農地の活用)』における検討と統合することが望ましいという意見となりました。</p>

まちづくり
目標

空き家(室)・空地・空き店舗の活用

【旗揚げしたテーマ】



2019.11.10 秋山 26 P. 26

【テーマの実現に向けた取組み】(取組み内容を_____としている)

まちづくり
目標

食べられるまち(まちなかの空きスペースの活用)

【旗揚げしたテーマ】

取組みの視点(方向性)	取組み内容
(1) “まちなかの小さな菜園” づくり	① 空きスペースの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>空きスペース</u> (例：長年使われていない空き家の庭、道路沿いの花壇、公園と道路の境目、車道・歩道の分離スペース等) を借用する。 ② まちなか菜園としての活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 借用したスペースで野菜や果物を育てたい人を募集し、育てる。
(2) “ゆるやかな” コミュニティづくり	① 『(例) 参加意識の醸成』 <ul style="list-style-type: none"> ・ “まちなかの小さな菜園” と通じて、<u>地域でお互いを知る“軽い” 出会いの場を作る。</u> 例： <ul style="list-style-type: none"> ・ 少額でもお金を負担することで、<u>参加意識を高める</u> ・ <u>子どもたちの農業体験</u> (親子連れでの交流・保育園児の土に触れる体験) ・ <u>教え・教えられる関係を通じた交流づくり</u> (区民農園経験者による指導)
(3) シビックエコノミー	① 『(例) シビックエコノミーの取組み』 <ul style="list-style-type: none"> ・ “シビックエコノミー (住民主体の経済活動) の取組みを通じて、まちの活性化を図る。 例： <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>収穫したものをみんなで食べる</u> (バーベキュー等) ・ <u>収穫物のコンテスト</u> ・ <u>作ったものを地域のレストランに提供する</u> 等
取組みの効果： <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境効果(緑が増え環境によい) ・ 防犯効果(活動を通じて日常から人の目による抑止力が高まる) ・ 防災効果(災害時の非常食として活用できる) ・ 付加価値(「西荻らしさ」が生み出せる(イベントの開催など)) 	

まちづくり
目標

【テーマの実現に向けた取組み】

活用できる
場

借りた人も
募集する

取組みの視点(方向性)	取組み内容
農園 空き地 まちのなかの 活用 小さな菜園 づくり	長年使われていない空き地を 活用 道路沿いの 花壇の活用 公園と道路の 境目のスペース 商店街の 街路樹の下 信上川活用 して食べられるものを 育てる 運営の仕組みを 構築して運用する
コミュニティ づくり ゆるい コミュニティ づくり	少額でも お金を負担することで 参加意欲を高める 子どもたちの 農業体験 (親子連れも交流 保育園) 教え、教えられる 関係の 交流作り 地域で お互いを知り 軽い出会う場 (ゆるいコミュニティ)
地場産業 シビック エコミー	収穫したものを みんなで食べる (バーベキュー) 収穫物の コンテスト 作ったものを レストランに提供 する 西沢らしい まちの活性化 につなげる

「旗揚げしたテーマ」

食べられるまち(畑・農地の活用)

まちづくり
目標

【テーマの実現に向けた取組み】

取組みの視点(方向性)	取組み内容
1. "まちのなかの小さな菜園" づくり	1) 空きスペース(長年使われていない空き地の庭、道路沿いの花壇、公園と道路の境目、車道・歩道の分離スペース等)を借用する 2) 借用したスペースで野菜・果物を育てたい人を募集する 3) 育てる
2. "ゆるやかな" コミュニティづくり	上記1.を通じて、地域でお互いを知り軽い出会う場を作った (例)・少額でもお金を負担することで参加意識を高める ・子供達の農業体験(親子連れでの交流、保育園児の土に触れたい体験) ・教え、教えられる関係を通じた交流作り(区民農園経験者による指導等)
3. シビックエコミー	<シビックエコミーとは> 住民主体の経済活動 ⇒上記1.2.を通じてまちの活性化 (例)・収穫したものをみんなで食べる(バーベキュー等) ・収穫物のコンテスト ・作ったものを地域のレストランに提供するなど

効果

記録が増える
 防犯(人の目が入る)
 防災(災害時の非常食に)
 「西沢らしい」の付加価値を生み出す(人・文化・環境)

食べられるまち(まちのなかの空きスペースの活用)

暮らしやすいまちづくり部会の整理

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	参加者の思い（案）
暮らしやすいまちづくり	今の暮らしやすさの維持・充実	(1)暮らしを支えるインフラの維持・整備 ①（例）道路の整備 ②（例）防災拠点化、複合化 (2)歩行者の安全性確保 ①歩行の安全を守るため、自転車のスピード抑制 (3)商店や街並みの保全 ①（例）建物のルールづくり ②（例）緑の保全 (4)民間との協力体制づくり ①（例）観光資源化	無電柱化やバリアフリーなどの道路整備、駅前駐輪場の整備、児童館や図書館などの既存の公共施設等の機能更新や充実を図り、暮らしやすい街の形成を促進します。 自動車及び自転車の運転マナーの向上や歩行者が歩きやすい道路環境をつくれます。 古い良き街並みを保全するためのルールづくりを検討します。 来訪者が街並み散策を楽しめるように地域資源の整理や情報発信等を行います。
	コミュニティによる安心づくり	(1)誰もが安心して過ごせるまちづくり ①座れる場づくり ②段差の少ないまち ③交通 (2)みどり豊かな良好な住環境の保全・育成 ①軸となるみどり ②にぎわいとしてのみどり ③まちなかのみどり (3)地域住民のコミュニティ促進 ①くつろげる場づくり ②情報発信・共有	誰もが安心して過ごせるまちの観点から、歩行空間のバリアフリー化や誰もが座れるベンチの設置に取り組みます。 みどり豊かで良好な住環境を保全・育成するため、軸のみどりとなる街路樹の設置、にぎわいのみどりとしての公園の整備、壁面・接道部の緑化などによるまちなかみどりの育成に取り組みます。 まちなかに交流空間を設けることで、地域住民が顔を合わせる機会を増やします。
	空き家（室）・空き店舗の活用	(1)情報を集約するプラットフォームづくり ①口コミ ②『まちかど掲示板』の設置 (2)空間（部屋、建物、土地）の有効活用 ①マルシェ ②まちかど休憩所 ③NPOなどの活動拠点 ④シェアオフィス ⑤子育て世代など多世代を対象とした多目的スペース ⑥留学生向け下宿	空き家、空地、空き店舗を有効に活用するための情報提供・共有を行うプラットフォームづくり（SNSの活用、街かど掲示板の設置など）を促進します。 駅周辺の空間、空いている店舗等を活用しながら、人が集まる拠点を創出し、まちのにぎわいづくりを進めます。 ※ まちなか菜園としての活用 → 「空き地の活用」へ
	空地・空きスペースの活用	(1)まちなかの小さな菜園づくり ①空きスペースの活用 ②街なか菜園としての活用 (2)ゆるやかなコミュニティづくり ①（例）参加意識の醸成 (3)シビックエコノミー ①（例）シビックエコノミーの取組み	まちなかにおいて使われていない空き家の庭や道路沿いの空きスペースなどを活用して、空きスペースを借用し野菜や果物などを育てたい人を募ることで、まちなかの小さな菜園としての活用を図ります。 “まちなかの小さな菜園”を通じて、子どもたちの農業体験や教え・教えられる関係を通じた交流づくりなどにより、地域でお互いを知る“ゆるやかな”出会いの場を作ります。 “まちなかの小さな菜園”での収穫物をレストランに提供したり、地域のイベント等に活用するなど、住民主体の経済活動・まちづくり活動の取組みを通じて、まちの活性化を図ります。